

(別紙6)

令和2年9月30日公表

審議会等会議録

会議名	第5回(令和2年度 第1回)富良野市地域福祉計画市民委員会
開催日時	令和2年8月31日(月)午後5時30分から午後6時30分
開催場所	富良野市総合保健センター2階 会議室
出席者等	<委員> 久田 茂、山田 明、佐藤正勝、濱本 渉、佐藤里津江、 桐澤幸子、小山内裕昭、泉 正子、有澤 浩、松田尚美 南部榮一、郡司正人(計12名) <事務局> 柿本保健福祉部長、西尾福祉課長、岡田福祉係長
公開・非公開 の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <一部公開又は非公開の理由>
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
傍聴の人数	0人
議事録の 作成方法	<input type="checkbox"/> 全文筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ
会議の内容	1. 開 会 2. 会長挨拶 3. 協議事項 (1) 第2期富良野市地域福祉計画 平成31年度(令和元年度) 進捗状況報告 (2) 福祉団体へのアンケート調査及び結果について (3) 今後のスケジュールについて 4. 閉 会
会議資料	・議案 ・資料1 第2期富良野市地域福祉計画 平成31年度(令和元年度) 進捗状況報告書 ・資料2 富良野市地域福祉に関するアンケート調査(団体調査) ・資料3 地域福祉計画に関するアンケート(団体調査)結果報告 書(非公開)
その他特記事項	
問合せ先	保健福祉部福祉課福祉係 電話番号 0167-39-2211

市のホームページへの掲載(掲載日 9月30日)

行政情報コーナー供覧(供覧日 ___月___日)

第5回（令和2年度 第1回） 富良野市地域福祉計画市民委員会議事録

日 時 令和2年8月31日（月） 午後5時30分～午後6時25分

場 所 富良野市総合保健センター 会議室

出席者 久田会長、山田副会長、佐藤（正）委員、濱本委員、佐藤（里）委員、
桐澤委員、小山内委員、泉委員、有澤委員 松田委員、南部委員、郡司委員
（計12名）

事務局 柿本保健福祉部長、西尾福祉課長 岡田福祉係長 （計3名）

1. 開 会（17：30～）

（進行：事務局）

皆さん、大変お疲れ様でございます。本日は、お忙しい中お集まり頂きまして誠にありがとうございます。

ご案内申し上げました時間より、若干早いのですが、本日出席の委員の皆様お揃いでございますので、ただ今より、令和2年度第1回目となります、第5回富良野市地域福祉計画市民委員会を始めさせて頂きたいと思えます。

開会にあたりまして、会長でございます久田会長よりご挨拶を申し上げます。

2. 会長挨拶

（会長）

皆さんお晩でございます。

今お話しがありましたように、この富良野市地域福祉計画市民委員会につきましては7回ある中で、今日第5回目ということで、ほぼ佳境に入っているところでございます。

新型コロナの関係もございまして、できるだけ3密を防ぐということと、時間も長く取れないということもあると思えますが、市の方からは簡潔に説明して頂きまして、皆様方からは、事前に資料もお配りしておりますので、質問等は積極的にどんどん頂ければ幸いですので、今日はどうぞよろしく願いいたします。

（事務局）

それでは、早速協議事項の方に入らせて頂きたいと思えます。

今後の進行につきましては、会長が議長という事でございますので、久田会長に一任させて頂きたいと思えますので、どうぞよろしく願いします。

3. 協議事項

（1）第2期富良野市地域福祉計画 平成31年度（令和元年度）進捗状況報告について（資料1）

(会長)

それでは早速、皆様方の資料に基づきまして、今日の議案につきまして進めさせて頂きたいと思います。

最初に、第2期富良野市地域福祉計画 平成31年度（令和元年度）進捗状況報告書（資料1）について、説明して頂きたいと思います。よろしくお願ひします。

(事務局)

資料1の説明前に、報告書の修正箇所について説明。

(要旨)

第2期富良野市地域福祉計画の基本目標及び目標に対する基本施策の構成については、昨年開催した委員会の中で説明していることから、今委員会では説明を省略することを伝え令和元年度の進捗状況について報告。

また、事前に報告書を送付していることから、報告書の説明については、「基本目標1 安心して福祉サービスを利用できる仕組みづくり」以下、令和元年度の実施評価として大きな変化があった部分、基本施策における主な実施状況の中で大きく増減した項目、事業が縮小された項目についての説明を行う。

(会長)

はい、ありがとうございます。

ポイントを絞って頂いて、解りやすく説明してもらいました。

それでは、進捗状況報告書につきまして、皆様方から質問等ございませんか。

(委員)

11頁の「成年後見制度法人後見」の関係ですが、富良野市で受けた相談内容の中で、受任となるようなケースはないですか。

(事務局)

11頁にあります「成年後見制度法人後見」の事業につきましては、社会福祉協議会様の方で実施している事業でございます。

○委員からご指摘がありました、受任となるようなケースは富良野市の相談の中ではないようでございます。

(会長)

○委員さん、良いですか。

(委員)

はい、良いですよ。

(委員)

次、良いですか。「消費者被害への対応」の項目ですが、スマホに関連するトラブルがかなり多いと聞きますが、富良野市消費者協会にそのような相談件数はどれくらいあるのか。

(事務局)

只今の○委員からのご質問ですが、消費生活センターに対し昨年度の相談件数の報告を頂いて報告書に件数を計上しておりますが、相談件数の内訳の詳細についてのデータは、只今持ち合わせておりません。大変申し訳ございませんが、ご質問のありましたスマホ等に関連する相談件数については、準備不足もありお答えすることが出来ません。

(委員)

これについて、次回までにどのような内容があったか調べてもらいたい。相談件数だけ計上しても何の意味にもならないと思います。

それから、14 頁にあります「ふれあいサロン」の件ですが、自分は市役所や図書館等に行く機会がありますが、冬期間には弁当を持参して1日いる方もいらっしゃるようなので、各地域の会館でも、冬期間は暖房費等を確保して1日いられるようなサロンづくりを考えると更に機能していくと思うので、今後は各地域の会館でも年に1・2度は食事の提供を考えていく必要もあるのではないかと感じました。

纏めて話します。次 22 頁。

「認知症サポーター養成講習会」の件ですが、実施評価では認知症サポーター養成講習会について何も触れられていなく、また、認定書を交付する際の講習会はとても熱心を感じていますが、その後のアフターケアが全くなく、受講された方も忘れてしまっているケースもあるようであり、講習会時に受領した「オレンジリング」等のについても活用される機会もなく、折角の講習会が意味のないものになる恐れがあるので、アフターケア等について検討されたい。

次、25 頁ですね。

毎回、ユニバーサルデザインに関する項目が報告されていますが、富良野市において、ユニバーサルデザインに基づいて整備をした施設の実績はあるのでしょうか。国道の一部で、富良野高校から市民生協まで区間が該当となるのではと思いますが、他にも実績があるのでしょうか。

(事務局)

○委員より、ご指摘が3点程ございました。

まず、「ふれあいサロン」での食事の提供等が出来ないだろうかとのご質問でございますが、大変申し訳ございませんが、サロン事業の実施に関して私の立場から、食事の提供についての可能性の有無、検討の有無についてはご返答出来かねますので、只今ご指摘がありましたご意見につきましては、担当の方に意見を届けさせて頂きたいと思っておりますので、ご了承頂ければと思います。

また、2点目の22頁に記載されています「認知症サポーター養成講座等を開催」の関する報告が23頁に記述がないとの件ですが、認知症サポーター養成講座等の名称とする講座を開設して、新たに福祉を担う人材の育成に努めることを目的としており、各福祉団体により開催された各種講習会を報告させて頂いたところでございます。

3点目の25頁にあります、「ユニバーサルデザインの推進」であります。公共施設の整備の際には、ユニバーサルデザインに配慮をした整備を進めているところでございますが、昨年今年と公共施設等の整備においては、報告出来る整備はございませんでしたが、歩道・公園の整備、公営住宅の整備においては、報告のとおりユニバーサルデザインに配慮をしました整備が行われたところでございます。

【整備箇所の確認】

春日・東町通道路、東雲通道路改良舗装工事では「点字ブロック」を組み入れた歩道の舗装工事を施工。

公営住宅の整備においては、玄関・室内での段差を解消し、玄関・お風呂・トイレに手すりを設置する建築を推進。

(会長)

○委員さん、よろしいですか。

(委員)

報告書の作成の際、担当部署より実績についての数値報告をもらうだけでなく、事業内容についてのコメントをもらうようにしてほしい。そうしてもらわないと、質問をしても同じような回答になってしまうことが多く、問題があると思います。質問のし甲斐がないと感じています。

(会長)

○さんのご意見としてお伺いしましたので、今後につきましては、いろいろと参考にしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

他に質問の方、ないでしょうか。

それでは、こちらの報告書につきましては、皆さん承知しているということでしょうか。はい、では次に進めたいと思います。

それでは2番目、福祉団体へのアンケート調査及び結果について（資料2・3）ですが、事務局より説明をお願いします。

(2) 福祉団体へのアンケート調査及び結果について (資料2・3)

(要旨)

地域福祉計画策定のための基礎資料づくりとして、「株式会社ぎょうせい」より地域福祉に関する考え方と地域の困りごと等に関する意見等を把握することを目的としてアンケート調査の要望があり、市内で活動している事業所・福祉団体等に対して、アンケート調査を実施することになった経過について説明。

アンケート調査はメールと郵送で行い、配布数は31団体。

回収数は13団体であり、41.9%の回収率となった。

アンケートの回答方式として、選択式回答項目と自由記述項目の方式により実施。

福祉団体等が抱えている諸問題、住民と行政との協働、行政への期待等についての設問があり、アンケートの結果(資料3)について報告する。

(会長)

ありがとうございます。では、これについても、皆様方からの質問を受けたいと思います。質問ございませんか。

(委員)

アンケートの中で、意味の分からないところがあるのですが、よろしいでしょうか。

9頁の3番目に記載されています。「ゴミ出しに困っています。(町内のゴミ出し支援は拒否)」と記載がありますが、これは、どのようなことでしょうか。

(事務局)

通常業務の中で、類似した電話相談を受けた事がございますので、そのケースを紹介して説明としたいと思います。

単身者、高齢者に限らず、身体的要件等から、自力でゴミステーションまでのゴミ出しが困難な方がおり、その支援を町内会としては協力することがなく、また、福祉サービス、介護サービスとしても、取組がなく解決策がないことを示しているものと思われます。

(委員)

町内会が手伝うことを拒否したということなのか。

(事務局)

本人が町内会側からの支援を拒否したのではなく、町内会側では、そこまでの支援は出来ないということだと思います。

【上記の関しての富良野市での現状】

福祉サービス、介護サービスの中では、上記に対応出来るサービスの取扱いはないが、ヘルプサービスの中で取扱いをして貰える可能性はある。

他に考えられるものとして、富良野市社会福祉協議会で取り扱っている、「ボランティアサービス」、シルバー人材センターで行っている、「生活支援サービス」等が考えられる。

(委員)

施設の入居待ちの状況について、何らかの方法により申込された方の順番を公表することは出来ないか。

(事務局)

各種施設等において、多くの方が順番待ちをしているとのことですが、施設の入居に際しては、空きが出ないと入居が出来ない現状があり、何時頃入居出来る等の判断については容易に出来るものではございません。

入居が近くなって来た際には、入所判定審査会により入居する方を判定して進めているものでございます。

そのような状況の中で、個人情報の観点等からも、入居待ちの順番等について公表することは現状難しいと考えます。

(委員)

18頁2番目にある、「行政機関においても、福祉所管課の経験がない職員に対する、障害者への理解を深め、偏見をなくすような活動。」というのは、そのような事例があるから出されたのではないか。

(事務局)

18頁に記載があります、行政機関において、福祉所管課の経験がない職員の中で、障害者への理解が不足していると感じられたケースがあったことから回答されているものと思いますが、返信された機関より、直接、福祉課への苦情等の申立てについては受けていないため、具体的にどのような内容であったかまでは把握していません。大変申し訳ございません。

(委員)

だいたい分かりました。良いです。

(会長)

後どうですか、皆さん。他に何かありませんか。

皆さん、他に質問ございませんね。

それでは、この件につきましても、報告ということで伺いましたので、今後の参考とさせていただきます。

(3) 今後のスケジュールについて

(会長)

今後のスケジュールということで、お願いします。

(事務局)

スケジュールにつきましては、昨年9月の市民委員会時に、おおよそのスケジュールにつきまして、お示しさせて頂いているところでございます。

本日、第5回目（令和2年度第1回）の市民委員会を開催させて頂き、令和元年度の進捗状況、福祉団体へのアンケートについて報告させて頂きました。

この後、11月頃に第6回市民委員会を開催し、素案の審議（計画骨子案の提案）を予定してございます。

その際には委員会の皆様からのご意見を集約し、年が明けた令和3年1月に第7回市民委員会を開催しまして、素案審議（計画案）をさせて頂きたいと考えております。

令和3年2月には、パブリックコメント、市長答申をさせて頂き、令和3年3月にはパブリックコメント報告と計画決定をさせて頂きたいと考えております。

以上、このようなスケジュール組んでございますので、よろしくお願い申し上げます。

(会長)

はい、ありがとうございます。

それでは最後にその他ということで、何かございますか。

(委員)

はい。これは答えられると思うのですが、部長と課長が出席しているので、お聞きしたいと思えます。

「富良野市審議会等の設置及び運営に関する事務取扱指針」の内容について知っていますか。

前回の市民委員会後のホームページでの公表が、1ヶ月以上遅れていました。

事務取扱指針によると、会議終了後概ね1ヶ月以内にホームページにて公表しなければならないとなっており、公表前には審議会の委員に対して、会議録を送付することになっていることになっています。

数年前にも別の審議会で指摘をしたことがあり、今回指摘した審議会はこの審議会のことです。

3月9日に開催した市民委員会の公表が4月末日であり、公表までに50日程掛かっていたことを確認しました。

広報8月号に出ていました「市民の声」は私です。

このように、審議会の公開が遅れているようなケースについて、部長などは確認して注意等はしていないのですか。

(部長)

○委員より、ご指摘された事につきましては、反論の余地もなく、反省する材料と
思っておりますので、今回の会議を含め、今年度で開催します市民委員会においては、
公開するスケジュールについてしっかり管理して行きたいと思っておりますので、よろしく
お願いいたします。

(委員)

一つよろしく申し上げます。他の審議会を含め、今回で2回目の指摘です。

このような事が起きないよう、市の幹部にも何らかの仕組みを作ってほしいとお
願いしたところです。市の職員が、期限を20日も遅れるのは望ましくないと思う
ので、今後は気を付けて頂きたいと思っております。

(会長)

はい、ほぼ、これですべての案件が終了したと思っております。

皆様方のご協力によりまして、早く終わることが出来ました。

以上を持ちまして、終了したと思っております。ありがとうございました。

閉会 18時25分